

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が405例(男性217例(10歳代16例, 20歳代59例, 30歳代34例, 40歳代45例, 50歳代31例, 60歳代13例, 70歳代9例, 80歳代3例, 90歳代1例, 年齢非公開6例), 女性168例(10歳代15例, 20歳代51例, 30歳代20例, 40歳代25例, 50歳代25例, 60歳代12例, 70歳代9例, 80歳代5例, 90歳代3例, 年齢非公開3例), 性別及び年齢非公開20例)あり, 本年の累積報告数は4,175例になりました。
新型コロナウイルス感染症の患者数が急増しています。手洗いやマスクの着用など, 感染予防を徹底しましょう。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が1例(10歳代女性)ありました。本年初めての報告となります。
発生状況の週別推移や血清型別患者数などの詳しい情報については, 下記URLを御参照ください。
○腸管出血性大腸菌感染症発生状況(衛生環境研究所ホームページ)
<http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000068305.html>
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(60歳代男性)あり, 症状は発熱, 意識障害, 肺炎です。発生地域は国内, 感染経路は水系感染です。本年の累積報告数は7例となりました。
- 梅毒の報告が2例(40歳代男性及び30歳代女性)ありました。本年の累積報告数は16例になりました。
梅毒の感染経路はほとんどが性的接触です。不特定多数との性的接触を避け, コンドームの使用などの予防策をとってください。重症化及び感染拡大を防ぐためには早期発見, 早期治療が非常に重要です。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2021年第15週, 本市では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の検査陽性者が405例報告され, 本年の累計陽性者数は4,175例になりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 6例(肺結核 2例, その他結核 なし, 潜在性結核感染者 4例)うち喀痰塗抹陽性 1例)
【1月以降の累積報告数 71例(肺結核 26例, その他結核 26例, 潜在性結核感染者 19例)うち喀痰塗抹陽性 10例】
- 新型コロナウイルス感染症 405例【1月以降の累積報告数 4,175例】
- 三類:腸管出血性大腸菌感染症 1例【1月以降の累積報告数 1例】
- 四類:レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 7例】
- 五類:梅毒 1例【1月以降の累積報告数 16例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	2.95	127
	② A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.65	28
	③ RSウイルス感染症	0.44	19
	④ 突発性発しん	0.28	12
	⑤ 水痘	0.09	4
眼科	流行性角結膜炎	0.10	1

【次ページ以降の主な内容】

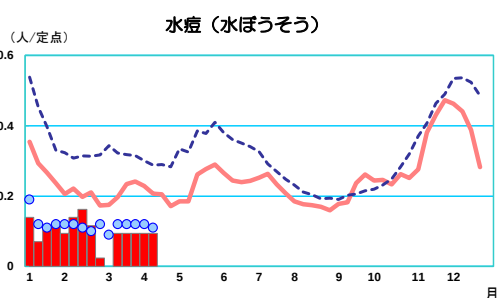
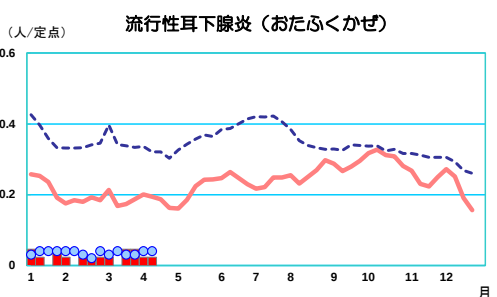
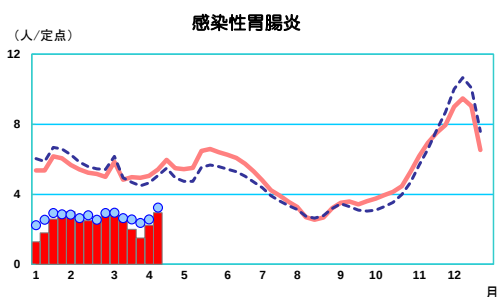
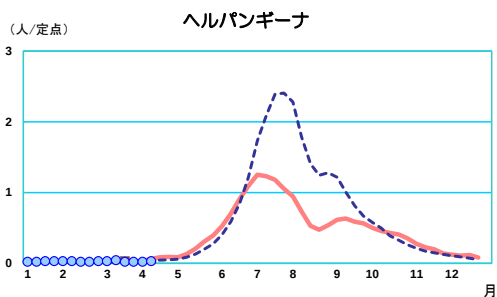
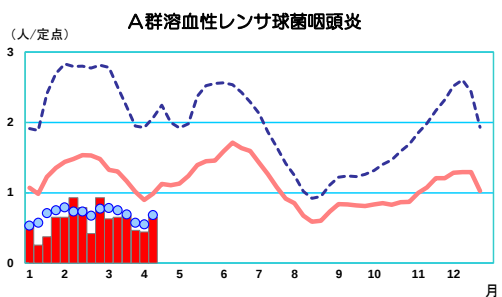
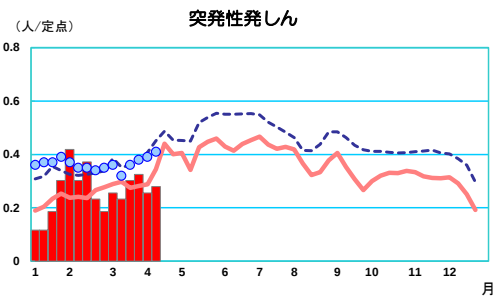
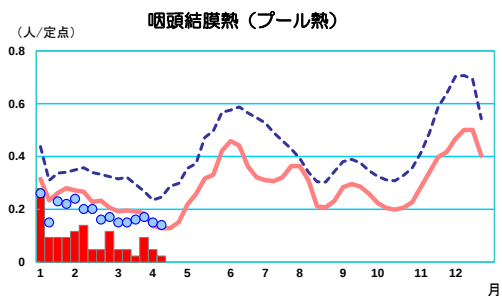
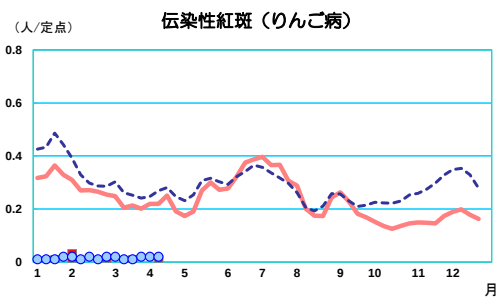
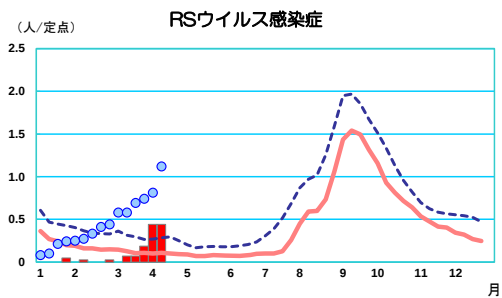
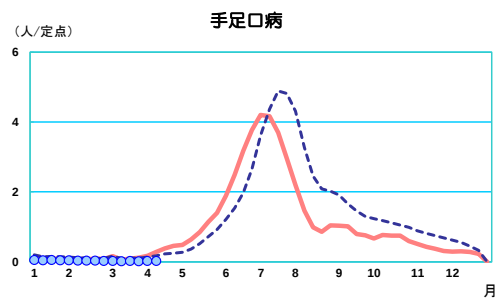
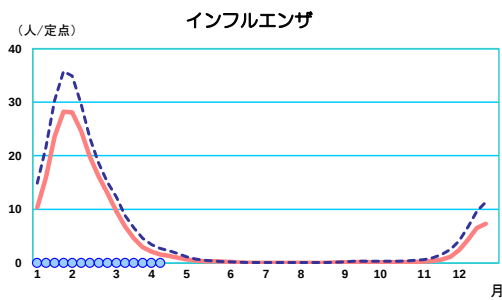
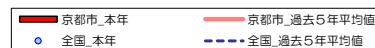
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年4月22日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。

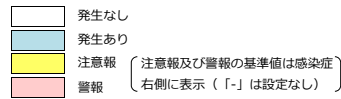
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。

* 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

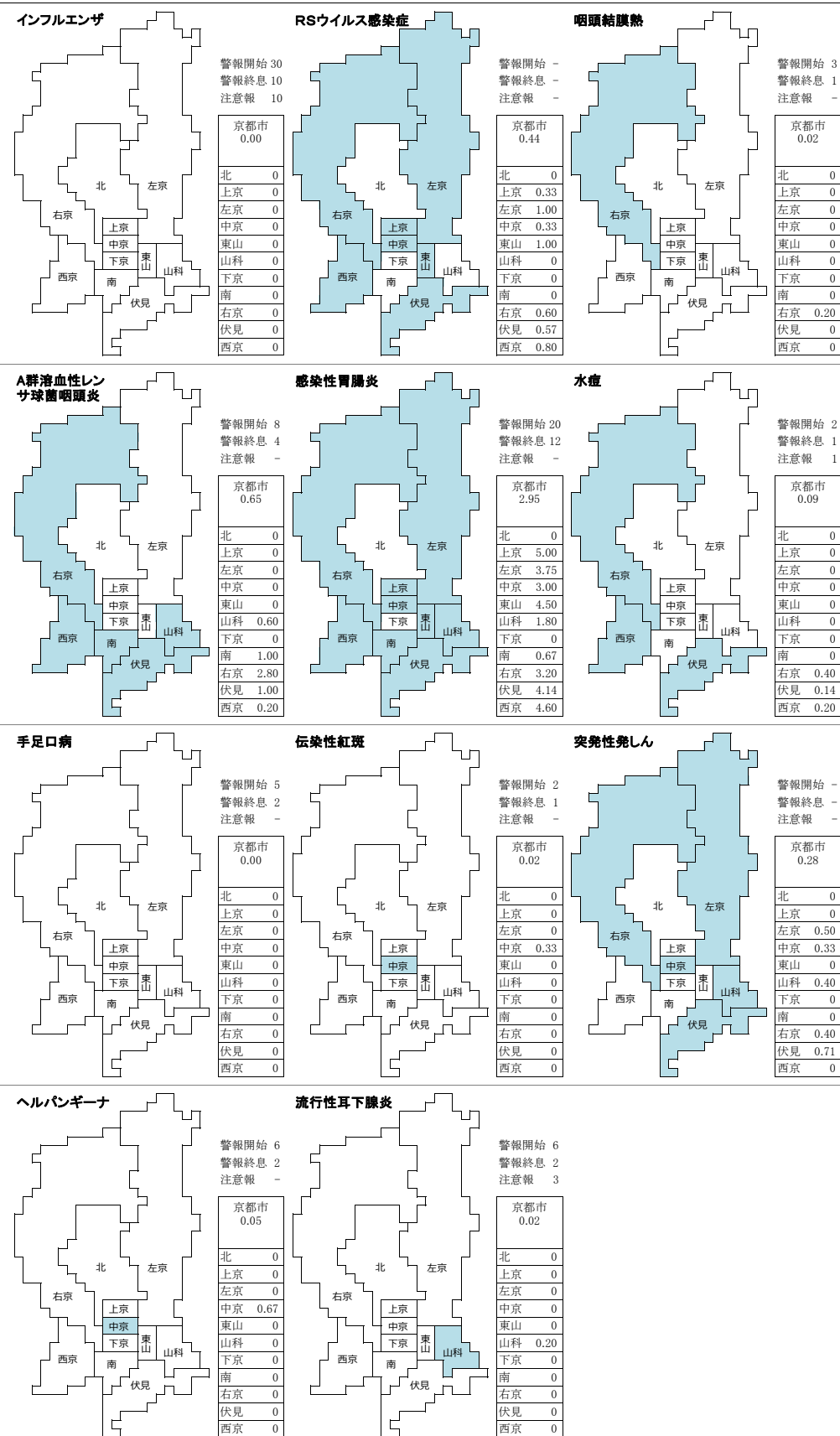
インフルエンザ[※]及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第15週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
 したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
 「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第15週(4月12日～4月18日) トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2021年第15週, 本市では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の検査陽性者(以下, 陽性者)が405例報告され, 本年の累計陽性者数は4,175例になりました。国内各都市(五大都市及び沖縄県)と本市の人口10万人あたりの新規感染者数の推移を比べると, 3月上旬には新規陽性者数は少なく保たれていましたが, 同月下旬にはいくつかの都市で増加し始めています(図1)。特に, 大阪市は東京都の1月におけるピークである12.9人(週移動平均, 人口10万人あたり)を既に超過しており, 500人以上の新規陽性者が確認される日もあることから, 国内では著しく感染が拡大している状態にあると言えます。

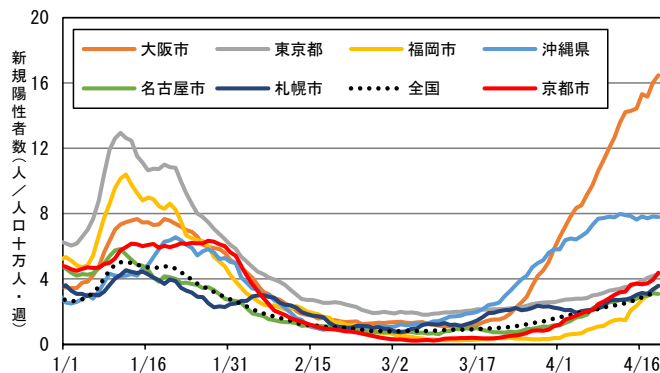


図1. 国内のCOVID-19新規陽性者数の推移*

世界各国の新規陽性者数の推移を見ると, イスラエルとイギリスは4月の初めには大幅に減少しつつある一方で, アメリカは2月中旬より下げ止まる傾向にあり, フランスは3月中旬から再び増加し始めています(図2上段)。その一方, 昨年12月中旬から各国でCOVID-19のワクチンが認可され, 順次, 接種が進められています。1回以上のワクチン接種を受けた人数は多い順にイスラエル, イギリス, アメリカ, フランスとなっており(図2下段), 接種を受けた人数の割合が高いほど, 再度の流行が起りにくくなっている傾向があるようです。

2021年4月20日現在, 国内で承認されているワクチンは95%以上の発症予防効果があるといわれています(*1)。これは, ワクチンを接種しなかった人と比べて, 接種した人ではCOVID-19を発症した人の数が5%以下に減ったという意味です。既に使用されている他のワクチンと比べると, 比較的效果は小さいとされるインフルエンザワクチンの発症予防効果は60%以下(*2), 高い効果があるとされる麻疹ワクチンが95%以上(*3)とされていますので, 現在国内で承認されているCOVID-19のワクチンはかなり高い効果があるようです。

このワクチンは4月4日までに国内で約110万回接種され, 接種後の経過について報告が集まっています(*4)。ワクチン接種後に起こったあらゆる症状・死亡は, 因果関係にかかわらず報告されるため, 実際には接種と関係がないものも多数含まれます。このうち, アナフィラキシーは死亡する可能性があるため, 特に慎重に情報が集められています。接種後のアナフィラキシーの発生頻度は0.007%であり, 全体として重症度は低かったといわれています。また, 国内では現在までにこのワクチンが原因とみられる死亡例は認められていません。総じて, 上述のワクチンは効果が高く, 接種することに十分利益があると言って差し支えないと思われます。

国内でも医療従事者, 高齢者, 基礎疾患を有する方や高齢者施設等で従事されている方, それ以外の順で接種していく予定であり, 京都市では4月12日より高齢者を対象に接種を開始しています。しかし, ワクチンは発症を予防できますが, 感染をどの程度予防できるかは明らかではありません。そのためワクチンを接種しても, 感染拡大を防止するために手洗いやマスクの着用を引き続き行っていく必要があります。

○厚生労働省では, 新型コロナウイルス感染症のワクチンに関する情報を掲載しています。

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/>

○京都市では, 市内の新型コロナウイルス感染症のワクチン接種について最新の動向を提供しています。

<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000280084.html>

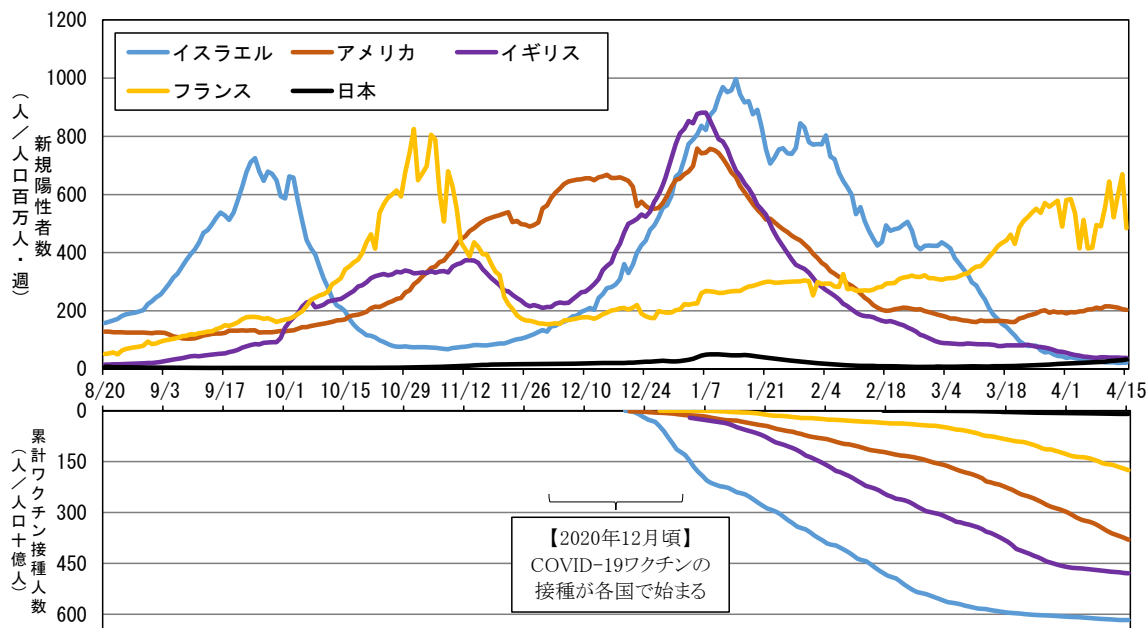


図2. 世界のCOVID-19新規陽性者数と累計ワクチン接種人数の推移#

【参考文献】(全て2021年4月20日閲覧。)

(*1) 厚生労働省「新型コロナワクチンQ&A」

<https://www.cov19-vaccine.mhlw.go.jp/qa/0011.html>

(*2) 厚生労働省「インフルエンザQ&A」

(注) 発症予防効果60%以下は高齢者でのデータであり, 5歳未満の幼児ではさらに低いとされる。

<https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou01/qa.html>

(*3) 国立感染症研究所「麻疹の現状と今後の麻疹対策について」

https://idsc.niid.go.jp/disease/measles/report2002/download/measles_report.pdf

(*4) 厚生労働省「新型コロナワクチンの副反応疑い報告について」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/vaccine_hukuhannou-utagai-houkoku.html

(§) 各自治体または厚生労働省のホームページのデータを基に作成。

<https://stopcovid19.metro.tokyo.lg.jp/>

<https://www.city.osaka.lg.jp/kenko/page/0000502869.html>

<https://www.city.fukuoka.lg.jp/hofuku/hokenyobo/health/kansen/cohs.html>

https://www.pref.okinawa.jp/site/hoken/chiihihoken/kekaku/covid19_hasseijoukyou.html

<https://www.city.nagoya.jp/kenkofukushi/page/0000126920.html>

<https://www.city.sapporo.jp/hokenjo/1kansen/2019n-covhassei.html>

<https://www.mhlw.go.jp/stf/covid-19/open-data.html>

(#) Our World in Data のデータを基に作成。

<https://ourworldindata.org/explorers/coronavirus-data-explorer/>

T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第15週

疾病,行政区別報告数

2021年4月12日～2021年4月18日

データ入手日:2021年4月22日

	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	1	-	-	15	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	4	-	-	15	-	-	-	2	-	-	-	-					
中京	-	1	-	-	9	-	-	1	1	2	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	2	-	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	-	-	-	3	9	-	-	-	2	-	1	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	-	3	2	-	-	-	-	-	-	-	-					
右京	-	3	1	14	16	2	-	-	2	-	-	-	-					
伏見	-	4	-	7	29	1	-	-	5	-	-	-	1					
西京	-	4	-	1	23	1	-	-	-	-	-	-	-					
京都市計	-	19	1	28	127	4	-	1	12	2	1	-	1	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフルエンザ（※1）	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
上京	-	0.33	-	-	5.00	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	1.00	-	-	3.75	-	-	-	0.50	-	-	-	-					
中京	-	0.33	-	-	3.00	-	-	0.33	0.33	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	1.00	-	-	4.50	-	-	-	-	-	-	-	-					
山科	-	-	-	0.60	1.80	-	-	-	0.40	-	0.20	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-					
南	-	-	-	1.00	0.67	-	-	-	-	-	-	-	-					
右京	-	0.60	0.20	2.80	3.20	0.40	-	-	0.40	-	-	-	-					
伏見	-	0.57	-	1.00	4.14	0.14	-	-	0.71	-	-	-	0.50					
西京	-	0.80	-	0.20	4.60	0.20	-	-	-	-	-	-	-					
京都市計	-	0.44	0.02	0.65	2.95	0.09	-	0.02	0.28	0.05	0.02	-	0.10	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第15週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年4月12日～2021年4月18日

データ入手日:2021年4月22日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	19	1	3	7	4	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		28	2	-	7	3	3	3	1	2	-	2	3	1	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		127	1	15	30	22	14	5	6	3	5	5	3	7	2	9	-	-	-	-	-	-
水痘		4	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		12	-	5	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上						
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
RSウイルス感染症	年齢3	0.44	0.02	0.07	0.16	0.09	0.07	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.65	0.05	-	0.16	0.07	0.07	0.07	0.02	0.05	-	0.05	0.07	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		2.95	0.02	0.35	0.70	0.51	0.33	0.12	0.14	0.07	0.12	0.12	0.07	0.16	0.05	0.21	-	-	-	-	-	-
水痘		0.09	-	-	0.02	-	-	-	-	-	0.05	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
手足口病		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.02	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.28	-	0.12	0.16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.05	-	-	0.02	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.02	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎	年齢2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.10	-	-	-	-
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第15週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年4月22日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	1	-	-
RSウイルス感染症	-	3	3	8	19	19
咽頭結膜熱	2	2	1	4	2	1
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	27	28	29	20	19	28
感染性胃腸炎	122	115	86	65	96	127
水痘	-	4	4	4	4	4
手足口病	1	-	5	2	-	-
伝染性紅斑	-	-	1	-	-	1
突発性発しん	11	10	13	14	11	12
ヘルパンギーナ	1	3	4	1	2	2
流行性耳下腺炎	1	-	2	2	1	1
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	2	1
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	165	165	148	121	156	196

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)	-	-	-	0.01	-	-
RSウイルス感染症	-	0.07	0.07	0.19	0.44	0.44
咽頭結膜熱	0.05	0.05	0.02	0.09	0.05	0.02
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.63	0.65	0.67	0.47	0.44	0.65
感染性胃腸炎	2.84	2.67	2.00	1.51	2.23	2.95
水痘	-	0.09	0.09	0.09	0.09	0.09
手足口病	0.02	-	0.12	0.05	-	-
伝染性紅斑	-	-	0.02	-	-	0.02
突発性発しん	0.26	0.23	0.30	0.33	0.26	0.28
ヘルパンギーナ	0.02	0.07	0.09	0.02	0.05	0.05
流行性耳下腺炎	0.02	-	0.05	0.05	0.02	0.02
急性出血性結膜炎	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎	-	-	-	-	0.20	0.10
細菌性髄膜炎 (※2)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-
クラミジア肺炎 (※3)	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎 (※4)	-	-	-	-	-	-
合 計	3.84	3.84	3.44	2.81	3.78	4.63

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。